



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（内線番号：77-988）

担当者の所属・氏名：女性総合診療部 吉田 司

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 吉田 司

分娩後異常出血に対する

動脈塞栓術を受けられた方を対象とした子宮内膜炎に関する

研究

1.研究の対象

- ・聖路加国際病院で出産し、分娩時異常出血に対して、動脈塞栓術を受けられた方（期間：2005年4月1日から2020年3月31日）

2.研究の目的・方法

- ・分娩後異常出血は分娩全体の約2%に認められ、母体死亡の原因の約1/4を占めています。治療抵抗性分娩後異常出血に対する止血処置として、動脈塞栓術は現在多くの施設で行われている手技の一つです。動脈塞栓術に関する研究は止血成功など臨床的成功例に焦点を当てている研究が多く、合併症に焦点を当てる論文は少ないです。また合併症の中でも動脈塞栓術後の子宮内膜炎は膿瘍を形成し、敗血症に至る症例や子宮全摘術に至る症例もあります。また分娩後子宮内膜炎の合併による入院日数の延長が報告されており、患者さんの早期社会復帰を妨げる因子ともなります。しかし動脈塞栓術後の子宮内膜炎発症率・リスク因子は解明されていないのが現状です。本検討は、上記を解明することを目的としています。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

個人情報（カルテID、年齢、身長、体重、BMI）

年齢、BMI、経産回数、妊娠週数、出生体重、帝王切開手術時間、分娩所要時間、分娩時総出血量、輸血量、入院期間、動脈塞栓までの経過時間（日）、双胎、ART妊娠、喫煙、GBS感染、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、前期破水、分娩様式、血管外漏出の有無、塞栓血管、子宮内膜炎の有無を予定しています。